

普賢学園口之津地域連携推進会議議事録

日 時：令和 8年 2月 5日 (木) 14:00～

場 所：グループホームパレット 談話室

参加者：■■■■様 (利用者代表)、■■■■様 (保護者代表)、■■■■様 (自治会代表)
■■■■様 (民生委員)、■■■■様 (南島原市障害福祉班) ■■■■ (施設長)
■■■■ (サビ管)

1. 林田施設長によるあいさつ

2. 本日の出席者を順次紹介

利用者代表・・・■■■■様
保護者代表・・・■■■■様
浦田中町自治会長・・・■■■■様
民生委員・・・■■■■様
南島原市障害福祉班・・・■■■■様

3. 地域連携推進会議の概要説明

- ・イメージとして、閉鎖的なかんじがあり、地域の方々に公開、交流を行っていくことにより開かれた、透明性のある事業所を目指す。
- ・昨今、虐待による事例が増加傾向にあり、地域の方々に目を向けていただくという趣旨であると考えている。
- ・太陽光発電システム、蓄電池を整備しており、災害時地域の避難所として活用していただくことも十分可能である。

4. 質疑応答

Q：グループホームパレット1号館について年代別の人数と、日中活動はどのような場所に行かれているのか教えていただきたい。

A：現在6名入居されており、20代3名、30代2名、40代1名であり、20代3名中1名が就労継続支援B型事業所、1名が就労継続支援A型事業所、もう1名が一般就労（障害者枠）を利用しており、30代40代の3名については、生活介護事業所を利用されている。

Q：地域との関わりを行うなかで、太陽光システムを活用した災害時の避難場所や、清掃活動への参加をされているとのことであるが、今後については何か考えていることがあるのか。

A：コロナ以前とは少し変わってきており、地域の方々の高齢化問題や空き家が増えてきている。そのような中で私ども事業所としては、地域行事に積極的に参加していきたいと考えている。

Q：この地域が災害に遭遇した場合、避難場所として活動できる場所はどこがあるのか。

A：南島原市指定の南有馬勤労者体育館と南有馬武道館がある。

Q：自家発電設備は備えているか。

A：自家発電設備については、整備していない。長時間の使用ができないことや、使用用途が限られてくる。今後は、持ち運べるタイプの発電機を検討している。

5. 施設見学

1号館、2号館、3号館の順にホームを見学してもらう。

各ホーム1居室、事前に許可を得た入居者の居室内を公開する。

6. 意見交換

Q：保護者の方からみて、ホーム内での職員の立ち振る舞いは、どのようにかんじているのか。

A：娘がお世話になり始めて3年程経過したが、食事も美味しいと言っているし、毎日楽しく過ごしているようで安心している。毎日ラインのやり取りをしているが、楽しさが伝わってくる。日々の日課やルール、規則正しい生活を送れていることに、とても感謝している。

Q：利用者の立場からみて、ホームでの生活はどのようにかんじているか。

A：信頼出来て、安心できる職員さんがいる。

7. ■■■施設長による閉会のあいさつ

記録者：■■■■■